

「秩父宮みなとラグビーまつり2019 Supported by ASAGAMI CORPORATION」に出展しました。

塩と暮らしを結ぶ運動では、2019年6月1日（土）に東京都港区で開催された「秩父宮みなとラグビーまつり2019 Supported by ASAGAMI CORPORATION」（主催：秩父宮みなとラグビーまつり2019実行委員会）に出展しました。

このおまつりは、国内ラグビーを盛り上げ、ラグビーを通じて国際文化交流を推進し、地域の活性化に繋げることを目的とするもので、秩父宮ラグビー場でのスーパーラグビーの試合（サンウルブズ×ブランビーズ）や、周辺道路での国際交流・地域活性化イベントなどが行われました。塩と暮らしを結ぶ運動では、昨年度に引き続き、ブースを出展しました。

ブースでは、スーパーラグビーの試合観戦に向かわれる皆さまに、熱中症対策に役立つ塩飴とウチワ、加えて運動の冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』をお配りしました。

なお、今回のブースの運営は、日本特殊製法塩協会（伯方塩業株式会社、株式会社天塩）、一般社団法人日本塩工業会、全国塩元売協会及び事務局という運動を挙げての体制で行いました。



今回のおまつりは、スーパーラグビーの試合が2019年の国内最終戦だったこともあってか、大変盛況で過去最多の47,820名の来場がありました。

塩と暮らしを結ぶ運動のブースでは、天候に恵まれたこともあり、塩飴やウチワは大人気で、用意していた数のグッズを早々に配り終わるほどでした。約4,000名の方に、グッズをお渡しして、熱中症対策における塩の重要性や、塩と暮らしの関わりについて、お伝えすることができました。

ブースでは輪投げも実施し、お子様を中心に約100名の方に参加いただき、大変好評をいただきました。

また、今回は、おまつりのメインステージでのPRも実施しました。ステージにパネルの塩イルカを連れて登壇し、運動の目的や活動内容、熱中症対策には水分だけでなく塩分も必要なこと、またブースで塩飴などの配布や輪投げを行っていることなどをお伝えすることができました。

PRの最後に、「塩イルカ」Tシャツを賭けたジャンケン大会を行い、こちらも大変盛況でした。



「秩父宮みなとラグビーまつり2018 Supported by SUNTORY」に出展しました。

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2018年6月17日（日）、東京都港区で開催された「秩父宮みなとラグビーまつり2018 Supported by SUNTORY」（主催：秩父宮みなとラグビーまつり2018実行委員会）に出展しました。その様子を、ご紹介します。

このお祭りは、国内ラグビーを盛り上げ、またラグビーを通じて国際文化交流を推進し、地域の活性化に繋げることを目的とするもので、6月12日（火）から17日（日）までの間、様々なイベントが行われました。最終日の17日には、秩父宮ラグビー場での国際交流試合や、周辺道路での国際交流・地域活性化イベントなどが開催され、塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会も、秩父宮ラグビー場近くの「スタジアム通り」にブースを出展しました。

夏場のスポーツやスポーツ観戦では特に、熱中症に気を付ける必要があります。そして、熱中症対策には塩が欠かせないことから、熱中症対策をはじめとする塩と暮らしの関わりについてPRする良い機会と考え、出展することとしたものです。



ご来場の皆様には、熱中症対策にすぐに役立つ塩飴とウチワをお配りしました。また、熱中症対策に限らない塩と暮らしの関わりについてより詳しく知っていただくために、冊子「塩と暮らしのなるほどBOOK」もお渡ししました。加えて、6月15日から実施している「暮らしおクイズキャンペーン2018」も、チラシでPRしました。

また、ブースでは、お子さまを対象に、運動公式キャラクター「塩イルカ」の輪投げを行い、成績の良かった方には「塩イルカ」オリジナルTシャツをプレゼントしました。

当日は、それほど気温は上がりませんでした、ウチワや塩飴は好評で、早速扇いだり口にされたりする方も多くいらっしゃいました。「塩イルカ」Tシャツも可愛いと好評で、多くの方に輪投げにチャレンジしていただきました。

梅雨時ではありましたが雨も降らず、秩父宮ラグビー場及び周辺道路は大変な賑わいで、イベント全体では3万300名の来場がありました。

その中で、約5,100名の方に、塩飴やウチワをお配りして熱中症対策に役立てていただくとともに、本運動や、塩と暮らしの関わりについてPRすることができました。

